

# 2025年度学生募集要項

(3年課程全日制)



## 泉州看護専門学校

〒590-0824 堺市堺区老松町2-58-1

HP-URL <http://www.senshu-kango.ac.jp>

電話 (072)-280-2377

FAX (072)-280-2388

# 2025年度 入学試験募集要項(3年課程全日制)

I. 学 科 看護学科。本校を卒業した者に看護師国家試験受験資格及び専門士（医療専門課程）の称号が与えられます。

II. 募集定員 40名（男女共学）

## III. 募集要項（入試日程等）

### 【推薦入試】

#### 1) 受験資格

- ①2025年3月に高等学校卒業見込みの者
- ②心身ともに健康で看護師志望が明確である者
- ③学業成績が評定平均3.2以上の者
- ④合格後は必ず本校に入学できる者

#### 2) 受験手続について

出願に必要な書類、費用は以下の通りです。学校専用の封筒で送付すること。

- ①入学願書、受験整理表、受験票（いずれも本校指定の用紙）
  - ※写真3枚を所定の位置に貼付（出願1ヵ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、単身正面脱帽、胸から上）、カラー・白黒いずれも可（写真の裏面に氏名を記入のこと）
- ②調査書（高等学校指定の様式）
- ③推薦書（本校指定様式1）
- ④連絡用シール（郵便番号、住所、氏名を記入すること）
- ⑤受験料2万円（郵便局で2万円の普通為替を購入し、何も記載しないで同封してください）
- ⑥学校専用の返信用封筒（速達料金の切手を貼付すること）
  - ※窓口出願の場合は、平日の午前9時～午後5時までに学校に持参ください。
  - ※必要書類は、電話、FAX、ホームページなどから請求ください。（無料）

#### 3) 試験日、願書受付期間、試験科目など

試験区分	試験日	合格発表	願書受付期間
【推薦入試】	10月12日(土) 午前9時開始	試験後7日以内 結果郵送	2024年9月13日(金)～ 10月4日(金)午後5時迄 【4日の消印有効】

【推薦入試】試験科目・時間割		
午前9時15分～10時05分迄	午前10時20分～11時10分迄	午前11時25分～12時15分迄
現代の国語・言語文化(古文・漢文除く)	小論文	面接

- ①午前8時30分より受付開始、午前9時～9時10分入試オリエンテーションの実施。
- ②試験開始後、15分を経過すると試験会場には入れません。

## 【一般入試】

### 1) 受験資格

- ①高等学校卒業及び2025年3月に高等学校卒業見込みの者。
- ②文部科学省による「高等学校卒業程度認定試験」に合格（見込み）の者。  
※但し入学時18歳以上

### 2) 受験手続について

出願に必要な書類、費用は以下の通りです。学校専用の封筒で送付すること。

- ①入学願書、受験整理表、受験票（いずれも本校指定の用紙）  
※写真3枚を所定の位置に貼付（出願1ヵ月以内に撮影したもの、タテ4cm×ヨコ3cm、単身正面脱帽、胸から上）、カラー・白黒いずれも可（写真の裏面に氏名を記入のこと）
- ②調査書（高等学校指定の様式）
- ③卒業証明書（新卒の方は、入学手続きの際に必ず提出のこと）  
（※高校の卒業証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本一通を提出すること）
- ④連絡用シール（郵便番号、住所、氏名を記入すること）
- ⑤受験料2万円（郵便局で2万円の普通為替を購入し、何も記載しないで同封してください）
- ⑥学校専用の返信用封筒（速達料金の切手を貼付すること）  
※高等学校調査書が発行できない場合、発行不能等の学校の証明を必ず添付のこと。  
※窓口出願の場合は、平日の午前9時～午後5時までに学校に持参ください。  
※必要書類は、電話、FAX、ホームページなどから請求ください。（無料）

### 3) 試験日、願書受付期間、試験科目など

試験区分	試験日	合格発表	願書受付期間
【一般入試】(前期)	1次試験：11月2日(土)	11月3日(日)午前7時 当校ホームページ上で発表	2024年10月15日(火)～ 10月29日(火)午後5時迄 【29日の消印有効】
	2次試験：11月3日(日) いずれも午前9時開始	試験後7日以内 結果郵送	
【一般入試】(後期)	1次試験：12月7日(土)	12月8日(日)午前7時 当校ホームページ上で発表	2024年11月18日(月)～ 12月2日(月)午後5時迄 【2日の消印有効】
	2次試験：12月8日(日) いずれも午前9時開始	試験後7日以内 結果郵送	

※なお、一般前期および一般後期試験で欠員が出た場合は、追加で一般入試を実施することがあります。

【一般入試】1次試験科目・時間割	
午前9時45分～10時35分迄	午前10時50分～11時40分迄
数学(数I)	現代の国語・言語文化(古文・漢文除く)

  

【一般入試】2次試験科目・時間割	
午前9時10分～10時迄	午前10時15分～
小論文	面接

- ①午前9時より受付開始、午前9時30分～9時40分入試オリエンテーションの実施。
- ②試験開始後、15分を経過すると試験会場には入れません。

- \* 入試結果に関する電話、その他の問い合わせには応じられません。
- \* 入試当日は、公共交通機関をご利用ください。

#### IV. 入学手続き

- ①合格者に対しては、合格通知と同時に「入学手続き方法」を通知します。手続きは以下の締め切り日までに完了してください。指定された日時を過ぎると入学資格は無効となります。
- ②入学金30万円（納入後、入学を取消しても返金致しません）

<b>【推薦入試】合格者</b>
2024年10月31日(木)午後5時まで

<b>【一般入試】(前期)合格者</b>	<b>【一般入試】(後期)合格者</b>
2024年11月22日(金)午後5時まで	2024年12月27日(金)午後5時まで

※追加で一般入試を実施した場合は、別途、案内します。

#### V. 学費負担

	入学金	授業料	施設維持費	教科書代	預り金	合計
1回生	30万円	66万円	ありません	約20万円	15万円	約126万円
2回生	—	66万円	ありません	約5万円	8万円	約79万円
3回生	—	66万円	ありません	約1万円	8万円	約75万円
合計	30万円	198万円	—	約26万円	26万円	約280万円

- ①授業料は、前期33万円を4月15日までに、後期33万円を10月15日までに、それぞれ一括納入のこと。
- ②教科書代金は、4月上旬に一括納入となります。
- ③預り金は、健診料、学生保険WILL、合宿一部負担、参考書、模擬試験、実習衣・ナースキャップ・ナースシューズ・ジャージ代（1回生）などに使途し、年度末以降に清算して残額を返金します。  
（※学年によって金額が異なります）
- ④実習交通費は、実費負担。

#### VI. 奨学金制度

- ①民医連の病院や診療所に就職を希望し、適任と認められた方に貸し付けされます。
  - (イ) 月額5万5千円。卒業後に借用した期間、勤務すれば返済は免除されます。
  - (ロ) 入学時特別奨学金（入学金相当額） ※詳細は各院所へお問い合わせください。
- ②日本学生支援機構＝1種／無利息、月額5万3千円（自宅外6万円）、2種／有利息で月額2万円～12万円までの間で、1万円刻みで選択可能。
- ③高等教育の就学支援新制度（給付奨学金制度と授業料の減免）について、当校は制度が活用できる確認校ですので利用が可能です。詳細は本校までご相談ください。
- ④自治体による就学資金＝自治体によって卒後の就職等を条件に就学資金制度を設けています。当該の自治体にお問い合わせください。（大阪府は2017年度から制度が廃止されましたので制度はありません。）
- ⑤その他、「国の教育ローン貸付制度」があります。

#### VII. その他

- ①学校は全面禁煙であり、学校近隣地での喫煙も禁止です。喫煙をした場合、「学則」にもとづき賞罰の対象となります。
- ②本校に学生寮はありません。
- ③通学は公共交通機関を利用してください。自転車通学は認めています。
- ④本校は「専門実践教育訓練講座」の指定を受けています。

別表1 3年間の教育課程

単位数(時間数)

区分	学科目	単 位	時間数	1年次	2年次	3年次	計	
基礎分野	科学的思考の基盤	哲学	1	20	1		1	
		生物学	1	30	1		1	
		物理学	1	20	1		1	
	人間と生活 社会の理解	心理学	1	30	1		1	
		人間関係論	1	30	1		1	
		カウンセリング	1	15	1		1	
		教育学	1	30	1		1	
		医療英語	1	20	1		1	
		言語表現	1	20	1		1	
		音楽	1	30	1		1	
		文学	1	15	1		1	
		社会学	1	30	1		1	
		憲法学	1	20	1		1	
		情報科学	1	20	1		1	
小 計	14	330	14 (330)			14 (330)		
専門基礎分野	人体の構造と機能	からだの構造としくみⅠ	1	30	1		1	
		からだの構造としくみⅡ	1	30	1		1	
		からだの構造としくみⅢ	1	30	1		1	
		からだの構造としくみⅣ	1	30	1		1	
		からだの構造としくみⅤ	1	30	1		1	
		生化学	1	30	1		1	
	疾病の成り立ちと回復 の促進	栄養学	1	20	1		1	
		病理学	1	30	1		1	
		疾病と治療Ⅰ	1	30		1	1	
		疾病と治療Ⅱ	1	30		1	1	
		疾病と治療Ⅲ	1	20		1	1	
		疾病と治療Ⅳ	1	20		1	1	
		疾病と治療Ⅴ	1	30		1	1	
		疾病と治療Ⅵ	1	20		1	1	
		検査と治療(検査・臨床薬理学)	1	30		1	1	
		微生物学	1	30	1		1	
	リハビリテーション看護	1	20		1	1		
	健康支援と 社会保障制度	医療論	1	15			1	1
		公衆衛生学	1	20	1		1	
		社会福祉	1	30		1	1	
		関係法規	1	15			1	1
		健康運動学	1	20	1		1	
	働く人々の健康支援学	1	20	1		1		
小 計	23	580	12 (320)	9 (230)	2 (30)	23 (580)		
専門分野	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	1	30	1		1	
		看護学概論Ⅱ	1	20		1	1	
		生きるを支える看護技術Ⅰ	1	30	1		1	
		生きるを支える看護技術Ⅱ	1	30	1		1	
		生きるを支える看護技術Ⅲ	1	30	1		1	
		生きるを支える看護技術Ⅳ	1	30	1		1	
		生きるを支える看護技術Ⅴ	1	30	1		1	
		生きるを支える看護技術Ⅵ	1	30	1		1	
		生きるを支える看護技術Ⅶ	1	20		1	1	
		生きるを支えるフィジカルアセスメント	1	30	1		1	
	地域・在宅看護論	生きるを支える看護過程	1	30		1	1	
		地域の人々の生活と健康	1	30		1	1	
		生きるを支える地域・在宅看護Ⅰ	1	20	1		1	
		生きるを支える地域・在宅看護Ⅱ	1	30		1	1	
	成人看護学	生きるを支える地域・在宅看護Ⅲ	1	20			1	1
		在宅における医療処置と看護	1	20		1	1	
		健康状態別看護Ⅰ	1	30		1	1	
		健康状態別看護Ⅱ	1	30		1	1	
		健康状態別看護Ⅲ	1	30		1	1	
	老年看護学	健康状態別看護Ⅳ	1	30		1	1	
健康状態別看護Ⅴ		1	30		1	1		
母性看護学	高齢者の生活と健康	1	30	1		1		
	高齢者を支える看護Ⅰ	1	20		1	1		
小児看護学	高齢者を支える看護Ⅱ	1	20		1	1		
	女性のライフサイクルと健康	1	30		1	1		
	周産期の理解	1	20		1	1		
精神看護学	周産期の看護	1	30		1	1		
	子どもの健康と成長発達	1	30		1	1		
	子どもの疾病と治療	1	20		1	1		
領域横断	子どもの健康を支える看護	1	30		1	1		
	こころの健康と社会	1	30		1	1		
	こころの疾病と治療	1	20		1	1		
	こころの健康を支える看護	1	30		1	1		
	ライフサイクルと健康	1	30	1		1		
	生きるを支える看護	1	20			1	1	
	家族看護	1	20		1	1		
	継続看護	1	20		1	1		
	周手術期の看護	1	20		1	1		
	薬物療法と看護	1	20		1	1		
看護の統合と実践	終末期の看護	1	20		1	1		
	看護管理・国際看護	1	20			1	1	
	救急看護・災害看護	1	30		1	1		
	医療安全	1	15			1	1	
看護実践論	1	20			1	1		
小 計	44	1125	11 (320)	26 (670)	7 (135)	44 (1125)		
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	30	1		1		
	基礎看護学実習Ⅱ	1	45	1		1		
	基礎看護学実習Ⅲ	2	60	2		2		
	地域・在宅看護論実習Ⅰ	2	90		2	2		
	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	80			2	2	
	成人・老年看護学実習Ⅰ	2	90		2	2		
	成人・老年看護学実習Ⅱ	2	80			2	2	
	成人・老年看護学実習Ⅲ	2	80			2	2	
	成人・老年看護学実習Ⅳ	2	80			2	2	
	母性看護学実習	2	80			2	2	
	小児看護学実習	2	80			2	2	
	精神看護学実習	2	80			2	2	
	看護の統合と実践実習	2	90			2	2	
	小 計	24	965	4 (135)	4 (180)	16 (650)	24 (965)	
総合計		105	3000	41 (1105)	39 (1080)	25 (815)	105 (3000)	

## 本校の概要

本校は、社会医療法人同仁会（耳原総合病院などの経営母体）の付属看護学校として、1975年4月に2年課程を開校。1983年4月には3年課程を開設し、現在は3年課程（全日制）のみとなっています。

本校は、全日本民主医療機関連合会（全国に病院、診療所、歯科、老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問看護ステーション、看護学校などをもつ、略称＝全日本民医連）に加盟しており、本校関連の病院、診療所の看護師の養成をはかるために設立されました。

現在の医療は、お金がなければ安心して医療が受けられないことをはじめ、患者の人権を尊重しない医療、営利的な医療など、さまざまな問題点やゆがみが存在しています。

民医連は、患者の基本的な人権を尊重すると共に、すべての患者に対して平等であり、苦しみや悩みを理解し、科学とヒューマンイズムに裏打ちされた専門家として、患者の病気とのたたかいを援助することを目標に掲げています。

同時に患者の要求に積極的にこたえ、要求の実現を妨げているさまざまな社会的障害を、患者・地域のひとびとと連帯・協同して打開していくことをめざしています。

民医連に加盟する病院・診療所は、全国すべての都道府県にあり、大阪では耳原総合病院以外に3病院、47診療所、5歯科、20の訪問看護ステーション、1つの特別養護老人ホーム、2つの介護老人保健施設、34の保険薬局などが府下各地にあります。

また、関連の院所には学業を援助するための「奨学金制度」があります。

本校の教育目標は、①患者・住民の立場に立つ看護に徹する心がまえをやしなう、②患者・住民の立場に立つ看護を実践できる基礎的な理論と技術をおさめ、実践の場で正しく応用できる能力をつちかう、③看護師の職務に誇りと責任をもち、多くの人びととの連帯のなかで、自主的・民主的に活動できる豊かな人格を育む、の3点です。

本校はいうまでもなく、人の生命を扱う看護師を育てる学校であり、そこには何事においても誠実で、しかも最善をつくす努力が厳しく求められます。患者の最善の療養のために、率直に意見や考え方を出し合い、スタッフとともに責任ある協力・協同の精神と行動を養って行かねばなりません。

そのためには、一人ひとりの「豊かな教養を基礎にした高い専門力量」が求められ、さらには、より高い科学性と創造性を発揮するために、多くのスタッフの英知を結集する「集団性と学習」が必要とされます。

従って人の生命をまもる看護師には、好むと好まざるとにかかわらず、自主性・集団性、そして自覚的規律と学習に精励する積極的な姿勢がとよく要求されます。

本校は、そうした「看護師」を養成する学校です。学校（実習施設を含め）は、その3年間を通じて、あらゆる場面において「看護師」としての資質を養う崇高な訓練場なのです。授業態度は勿論のこと、出欠・遅刻・早退も厳しく点検し、学生の自覚的規律と誠実さを強く求めます。

本校は、その教育指導にあたっては、「教育指導をおろそかにすることは、育成される看護師を通して、国民の生命をおろそかにすることになり、また育成される看護師自身の人格をそこなうことになること」、「教育指導の優劣は、すぐれた世代人の育成と共に、未来のより良い社会を準備することにかかわる」と考え、誠心誠意、指導と援助にあたりと共に、つねに学生とのふれあいを大切に、厳しくとも学校生活は楽しいと言える、明るい躍動的な校風をつくることに努力しています。

本校を志望するにあたっては、看護学校の学業は人の生命にかかわるものとして、おのずと社会的責任がともなってきます。従って、まじめに勉強する自覚的努力が必要です。自己中心の気ままな勉強は通用しません。

3年間の厳しい学生生活に耐えられるかどうか、あらためて自己の意志を確かめてください。

以上

